

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134012096	教育心理学 Educational Psychology	山田陽平		教職	2	選択	1後期

科目の概要

本科目では、児童生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、主体的な学びや対話的な学びを通して深い学びに導く指導の基礎となる考え方を理解する。DP2「ライフスタイルのデザインを提案するために必要な衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身に付けて、地域再生に貢献することができる。」およびDP3「自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。」を備えた家庭科教員となるためにも、この科目に真摯に向き合ってください。

学修内容	到達目標
① 発達における遺伝と環境の影響を理解する。 ② ピアジェの発達理論とヴィゴツキーの発達理論を理解する。 ③ 児童期の心身の発達の特徴を学ぶ。 ④ 青年期の心身の発達の特徴を学ぶ。 ⑤ 行動主義・認知主義・社会構成主義に基づく学習理論を理解する。 ⑥ アクティブ・ラーニング、有意味授業学習、プログラム学習を学ぶ。 ⑦ 学習にまつわる動機づけの考え方を学ぶ。 ⑧ 対話的・協同的な学習のコミュニケーション過程を学ぶ。 ⑨ 学習評価の考え方を学ぶ。 ⑩ 免許種に対応する子どもの学習において、発生する問題と解決案を考える。	① 発達における遺伝と環境の影響を説明することができる。 ② ピアジェの発達理論とヴィゴツキーの発達理論の違いを説明することができる。 ③ 児童期の心身の発達の特徴を説明することができる。 ④ 青年期の心身の発達の特徴を説明することができる。 ⑤ 行動主義・認知主義・社会構成主義に基づく学習理論の違いを対比して説明することができる。 ⑥ アクティブ・ラーニング、有意味授業学習、プログラム学習を用いた授業実践例を挙げることができる。 ⑦ 学習にまつわる動機づけの考え方を説明することができる。 ⑧ 対話的・協同的な学習のコミュニケーション過程を例示することができる。 ⑨ 学習評価の考え方を説明することができる。 ⑩ 免許種に対応する子どもの学習において、授業中などの学習場面ではどのような問題が発生するかを示し、その問題を解決するために、教師はどのような支援をすればいいかを述べることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自分の経験と関係づけたり、自分なりの例を作って考えている。
	働きかけ力	
	実行力	グループで協力して互いの理解を深め合うことを意識して行動している。
考え抜く力	課題発見力	わからないところを把握している。
	計画力	
	創造力	わからないことでも他に調べたり仮説を立てたりして考えを深めている。
チームで働く力	発信力	互いに意見を言いやすくなるように工夫して発言・コメントしている。
	傾聴力	グループメンバーの意見を聴いて反応している。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	期限までに課題を提出した。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『発達と学習』未来の教育を創る教職教養指針3 鹿毛雅治（編）学文社 2018年
<https://www.gakubunsha.com/book/b379394.html>

他科目との関連、資格との関連

「教育心理学」は教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目」に位置づけられ、「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」について教員養成段階で学ぶ教育の基礎理論の一つである。本科目の発達に関する知識は、その後履修する「生徒指導論」や「教育相談」「進路指導論」の基盤となる。学習に関する知識は「家庭科教育法ABCD」における授業の構成や実施の基盤となる。中学校教諭一種免許状（家庭）・高等学校教諭一種免許状（家庭）を取得するために履修する必要がある。

学修上の助言	受講生とのルール
テキストの内容に従ってすすめます。テキストを読むことを基本とします。テキストに直接書き込んだり、図式化したりすることで理解しやすくなります。	すべての課題は授業期間中に実施します。定期試験はありません。課題を実施するときに欠席した場合は評価点を与えられませんので注意してください。シラバスに記載の順ですすすめますが、順番等に変更がある場合は1週間前までにクラスルームを通して連絡します。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント				
学修成果	学期末試験	0	①	⑥				
			②	⑦				
			③	⑧				
			④	⑨				
			⑤	⑩				
	平常評価	小テスト	60	①	✓	⑥	✓	授業中の複数回に分けて小テストを実施する。小テストは知識の獲得と活用を問う。それぞれ30%ずつの配分とする。 知識の獲得は、発達と学習に関する概念の読解と記憶を確認する。テキストに記載の内容のみを扱う。30% 知識の活用は、発達と学習に関する概念を分類、区別、関係づけることができるかを確認する。テキストに記載されていない内容も扱う。30%
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤	✓	⑩		
		レポート	10	①	✓	⑥	✓	各回の授業で課す予復習課題
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤	✓	⑩	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①		⑥		獲得した知識を活用した問題同定と解決提案を考えるパフォーマンステストを行う。受講者同士で討論している様子を録画・録音し、その自然な議論の中での回答を評価する。20% 問題：免許種に対応する子どもの学習において、授業中などの学習場面ではどのような問題が発生するかを示し、その問題を解決するために、教師はどのような支援をすればいいか「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」の語句を中心にして述べるができる。		
		②		⑦				
		③		⑧				
		④		⑨				
		⑤		⑩	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	以下の七つの観点それぞれに対して、授業中の活動や提出物で評価する。 主体性：自分の経験と関係づけたり、自分なりの例を作って考えている。 実行力：グループで協力して互いの理解を深め合うことを意識して行動している。 課題発見力：わからないところを把握している。 創造力：わからないことでも他に調べたり仮説を立てたりして考えを深めている。 発信力：互いに意見を言いやすくなるように工夫して発言・コメントしている。 傾聴力：グループメンバーの意見を聴いて反応している。 規律性：期限までに課題を提出した。	
			②	✓	⑦	✓		
			③	✓	⑧	✓		
			④	✓	⑨	✓		
			⑤	✓	⑩	✓		
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S評価：平常評価において9割以上の得点率 A評価：平常評価において8割以上の得点率	B評価：平常評価において7割以上の得点率 C評価：平常評価において6割以上の得点率

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション：何ができるようになるか(学習目標)，何を学ぶか(学習内容)，どのように学ぶか(学習方法)，教職課程における本授業の位置づけを説明する。	講義	講義内容を聞き，復習課題を提出した。	予習：シラバスに目を通す。(10分) 復習：初回授業の話をもふまえて，授業を通して学べそうなことをまとめてクラスルームへ提出する。(30分)	40	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
2	発達・学習の生得的基盤：ヒトの発達と学習，個人差に及ぼす遺伝の影響，人間の教育と生得的基盤の相関	講義	発達における遺伝と環境の影響を説明することができる。	予習：次回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第1章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	小テスト：テキスト第1章までの内容について，1) 読み取れているか，覚えているかを確認する。2) テキストに記載されていない内容を分類，区別，関係づけることができるかを確認する。授業内で解答をフィードバックするので自己採点して理解状態を把握する。不明な点は他者や教員に質問して解消する。	小テスト，討論	小テストの正答率が80%以上である。	予習：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(60分) 復習：小テストで間違えたところ，討論の内容をまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	知性(認知)の発達：ピアジェの構成主義，ヴィゴツキーの文化的・一歴史的理論，認知発達の理論が教育へ与えた影響	講義	ピアジェの発達理論とヴィゴツキーの発達理論の違いを説明することができる。	予習：次回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第2章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	社会性の発達：他者の心の理解と社会性のめばえ，道徳性と共感，愛着と人間関係，自己概念とパーソナリティ	講義	児童期の心身の発達の特徴を説明することができる。 青年期の心身の発達の特徴を説明することができる。	予習：次回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第3章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	小テスト：テキスト第3章までの内容について，1) 読み取れているか，覚えているかを確認する。2) テキストに記載されていない内容を分類，区別，関係づけることができるかを確認する。授業内で解答をフィードバックするので自己採点して理解状態を把握する。不明な点は他者や教員に質問して解消する。	小テスト，討論	小テストの正答率が80%以上である。	予習：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(120分) 復習：小テストで間違えたところ，討論の内容をまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	学習と思考：心理メカニズムを探る，思考の特徴，学び続ける教師	講義	行動主義・認知主義・社会構成主義に基づく学習理論の違いを対比して説明することができる。 アクティブ・ラーニング，有意味授業学習，プログラム学習を用いた授業実践例を挙げることができる。	予習：次回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第4章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	動機づけと学習：主体的な学習態度，動機づけの基礎理論，自己調整学習	講義	学習にまつわる動機づけの考え方を説明することができる。	予習：次回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第5章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	コミュニケーションと学習：知識を深く学習する，コミュニケーションと学習，他者との協同による学習，協同的な学習環境を生み出す教師のコミュニケーション，授業の営みを支える社会的規範	講義	対話的・協同的な学習のコミュニケーション過程を例示することができる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第6章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	小テスト：テキスト第6章までの内容について，1) 読み取れているか，覚えているかを確認する。2) テキストに記載されていない内容を分類，区別，関係づけることができるかを確認する。授業内で解答をフィードバックするので自己採点して理解状態を把握する。不明な点は他者や教員に質問して解消する。	小テスト，討論	小テストの正答率が80%以上である。	予習：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(120分) 復習：小テストで間違えたところ，討論の内容をまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	学習の評価：評価とは，学習評価の目的，学習評価の方法，評価の基準，妥当性と信頼性，学習の解釈と評価情報の活用	講義	学習評価の考え方を説明することができる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第7章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	学習と発達を促す教育環境：学習者を取りまく環境，「学習者中心」の教育環境，教育環境のデザインと実践	講義	「環境」の観点から学習や発達を説明することができる。	予習：今回の学習範囲を予習する。(60分)：テキスト第9章に目を通して，次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力，2) 大事だと思ったところを書き写す，3) わからなかったところを書き写す。復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	小テスト：テキスト第9章までの内容について，1) 読み取れているか，覚えているかを確認する。2) テキストに記載されていない内容を分類，区別，関係づけることができるかを確認する。授業内で解答をフィードバックするので自己採点して理解状態を把握する。不明な点は他者や教員に質問して解消する。	小テスト，討論	小テストの正答率が80%以上である。	予習：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(120分) 復習：小テストで間違えたところ，討論の内容をまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	総括テストとパフォーマンステスト：免許種に対応する子どもの学習において，授業中などの学習場面ではどのような問題が発生するかを示し，その問題を解決するために，教師はどのような支援をすればいいか「主体的な学び，対話的な学び，深い学び」の語句を中心にして述べるができる。	テスト，討論	テストの正答率が80%以上である。 免許種に対応する子どもの学習において，発生する問題と解決案を考えることができる。	予習：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(180分) 復習：討論の内容をまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	授業のまとめ・補足・フィードバック	オンデマンド配信	授業を通して学べたこと，学びきれていないことをまとめることができる。	予習：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(60分) 復習：配信動画の視聴をふまえて，授業を通して学べたこと，学びきれていないことをまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力